

Tom's

VOL. 17
SUMMER 2011

特集

これが

This is the University of Toyama

富大!

ZOOM UP! キャンパス24時 先輩にQuestion! 富大活用術
研究者紹介 ハロ-先輩 Tom's History
Tom's薬箱 Tom's Gallery

10:30

キャンパスでは授業の真っ最中。100人以上入れる大きな教室で講義を受ける学生、作品制作に励む学生。どの表情も真剣そのもの。さまざまな学びの光景が見られるのも、総合大学ならではの。



商品ラベルのデザインを検討中



みんな真剣!



朝日がさしこむ並木道



キャンパス内に卵を抱くカモガ!

6:00

朝日が映える緑豊かなキャンパス。時折聞こえる鳥の声。ウォーキングで汗を流したり、ご夫婦で散歩を楽しむ地域の人の姿も。キャンパスの朝は静かに訪れる。



学食に並ぶ人々



12:00

どこからこんなにたくさんの人が!?というくらい賑わう構内。人気の学食は食堂の外にまで行列が繋がる。昼食の後は、木陰やベンチでおしゃべり。午後の授業が始まるまでそれぞれの時間を過ごす。



丘陵地にある杉谷キャンパスの通学風景



自転車通学の学生がとても多い



8:30

坂道に行く通学風景。あちこちで交わされる「おはよう」の挨拶。授業開始時間が近づくとつれ、構内は自転車や人でいっぱいになる。活気あふれる一日の始まり。



— 特集 —

This is the University of Toyama

これが富大!

キャンパス24時

富山大学には、五福、杉谷、高岡の3つのキャンパスがあります。それぞれのキャンパスでは、24時間さまざまな活動が行われています。今回は、早朝、日中、夕方、夜間の富山大学をZOOM UP! 時間ごとに変化するキャンパスの表情を追いかけてみました。

数字でみる 富山大学

学生数

9,359人

(平成23年5月1日現在)

学部学生8,178人、大学院生1,181人。全国各地から集まった、およそ1万人の学生が富山大学で学んでいます。

就職率

94.6%

(平成22年度卒業生)

全ての学部で、就職率が90%以上。学生の就職活動を全面的にサポートしています。

土地面積

東京ドーム **約17個分**

五福・杉谷・高岡の3キャンパスと附属学校等をあわせた富山大学全体の土地面積は837,546平方メートルです。ちなみに、3キャンパスの中で一番広いのは杉谷キャンパス。

公認サークル

157団体

(平成23年5月現在)

富山大学には体育系・文化系のさまざまなサークルがあり、学生たちが活発に活動しています。中には100人を越すサークルも!



研究活動は、まだまだこれから

20:00

人がどんどんまばらになってくる。定時のデータ採取、長時間にわたる実験など、建物の中で研究活動は続く。



深夜の医薬学図書館



24時間、キャンパスの安全を守る守衛さん

0:00

眠らない図書館で、深夜も論文と格闘している学生。徹夜覚悟の実験、研究活動。そんなキャンパスを、守衛さんは24時間見守っている。



14:15

パソコンの授業や外国人の先生による語学の授業など、授業の形態は多種多様。構内の野球場ではボールを追う学生も。自由な空気が流れるキャンパスの午後。



総合情報基盤センターにて



漢方研究サークル緒鞭(しゃべん)会



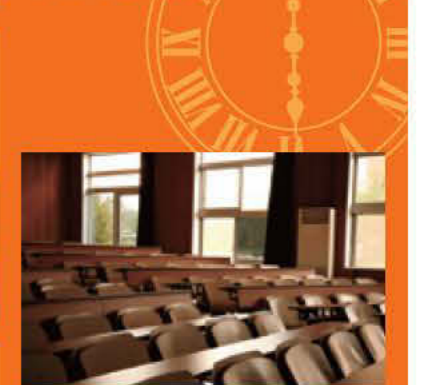
夕暮れのグラウンド



管弦楽団

18:00

放課後。夕陽がキャンパスを彩り、サークル活動、図書館で勉強、作品制作、研究など、学生たちは「自分のやりたいこと」に取り組んでいる。



図書館で自習

「ちょっと聞かせて!」 学生アンケート

キャンパスで、先輩たちに
直撃質問してみました。

Q1 アルバイトは 何をしていますか?

塾講師
家庭教師
寿司屋 (まかない付!)おもちゃ屋さん
ドラッグストアで
レジや商品の補充
飲食店で接客
本屋さん
コンビニ!

アルバイト紹介コーナーをこまめにチェックしてみると、面白いバイトが見つかるかも! これまで人気だったのは、テレビ局のカメラアシスタント、コンサートの警備スタッフ、映画のエキストラなど。時給も気になるけれど、いろんな仕事にチャレンジしてみるのもいい経験になるはず。

Q2 アルバイト代を何に 使っていますか?

半分はお小遣い、残り半分は
将来のために貯金!

ほとんど生活費
旅行のために貯金



「一つひとつの授業が専門的であり、
将来に直結した重要なものになりました。」

医学部医学科3年
野亦さん



何に関しても自分の意思が
優先される点。自由ですが、
自己管理も大事になっ
てくると思います。

芸術文化学部
デザイン情報コース3年
上森さん

聞いてみよう! 富大のこと 先輩にQuestion!



楽しい学生生活を送っている先輩たちに、
3つのクエスチョン!
興味シンシンの答えが返ってきました。

Q1 勉強や生活、 高校とどう違う?



人文学部
心理学コース3年
小西さん

大学はとにかく自由!
でも何事も自分から動かな
いと始まりません。

生活面でいうと自由な時間が増
えるので、何をしようか
自分で決めることが多い
なります。

医学部看護学科2年 / 吉田さん



薬学部薬学科2年
黒崎さん

いろんな都道府県の人と
話せて楽しい。方言ト
クで盛り上がりたりします。

大学では時間割を
自分で決めるので、
人によって時間割が違
います。

経済学部3年 / 東山さん

大学の授業では、専門的
な知識が学べること。
工学部2年 / 上田さん

自分の興味あること
を学べるのも楽しい。
人間発達科学部2年 / 大野木さん

与えられた問題を解くだけでなく、
自分で調べたり、深く考察
することが必要です。
理学部2年 / 水谷さん

Q2 各学部 入って良かったことを教えて!



理学部数学科2年
水谷さん

理学部
自分の入学した数学科以外の講義もあるので、理系が好きな自分にとっては様々な知識が得られます。

芸術文化学部
授業ではWebページ制作やポスターデザイン、「高岡活性化のために何をしたらよいか」を考え、3年/上森さん

人文学部
いろいろな専門分野があるの
いろいろな人と接するこ
とができます。面白くて
楽しい人ばかりです!
3年/小西さん

薬学部
勉強にも遊びにも真剣。
実験で遅くなることもあるけど、
終わった後は友達と遊びに行っ
たりしています。
2年/黒崎さん

工学部
知識を学ぶだけでなく、ものづくりが
できるのが魅力。プログラミングの授業
ではシューティングゲームを作りました。
2年/上田さん

経済学部
経済学部に入って社会の動き
がよくわかるようになりました。経済は全ての分野につながっ
ている学問だと思っ
3年/東山さん

医学部医学科
日本トップクラスの医学デー
ベース、設備、先生、友人達、満足
いくまで学習できる整った
学習環境。
3年/野亦さん

人間発達科学部
教育に関する専門分野が多いの
で、今まで学びたかった
ことがすべてが勉強で
きるのが一番うれしいです。
2年/大野木さん



医学部看護学科2年
吉田さん

医学部看護学科
学生のことを親身に考え、一生
懸命教えてくれる先生
のもとで勉強できてうれしいです。

Q3 将来の夢は?



経済学部経済学科3年
東山さん

大学で勉強したことを活かし
て、人の役に立つ仕事
がしたいです。

大学で学んだような心理仕
事をしたいですね。
人文学部3年/小西さん

数学の先生を目指して入った学部で
すが、メディア関係の授業を取って
にも興味が出てきました。
人間発達科学部
人間環境システム学科2年
大野木さん



人間発達科学部
人間環境システム学科2年
大野木さん

薬剤師としての視点も持ち合わせた
研究者になり、アルツハイマー
の治療に役立つ薬を開発
するのが夢!
薬学部2年/黒崎さん

患者さんのことを一番に
考えられる看護師。子ど
もが好きなので小児科の看護師
になりたい。
医学部看護学科2年/田中さん

情報やパソコンに強く関
係している学科なので、やっ
ぱり、この学びを
活かす道に!



工学部
知能情報工学科2年
上田さん

生徒に数学を好きに
なってもらえるよ
うな先生。
理学部2年/水谷さん

「無くて困らないけど、あつ
たらいいな」と思えるような
ものを創りたい。
芸術文化学部3年/上森さん

患者さんの命だけでなく、病
気や怪我をした後の人生
も守れるような医師。
医学部医学科3年/野亦さん

Support.3

卒業後を考えるなら!



気軽に相談できる雰囲気

**「働く」を軸にした
人生設計をお手伝いします。**

いまや個人と社会、個人と企業との関係も大きく変わり、自分のキャリアは自分で創る時代になりました。キャリアサポートセンターでは、「働く」ことを軸とした人生設計「キャリア開発」を学生一人ひとりが自ら考え選択できるようにお手伝いをしています。

職場体験や様々な進路に関する情報提供の他、キャリア・コンサルタントの専門資格をもつ職員が、就職だけではなくキャリアに関するさまざまな個別相談にも応じています。



学生会館2階にあります



年間60回以上のガイダンスを開催

Check!
**富山って、
どんなところ?**

標高3,000mの立山連峰、神秘の富山湾に代表される豊かな自然、そしてこの地に根ざした独特の文化や歴史が、富山大学の学びのバックボーンになっています。

五福・杉谷の両キャンパスがある富山市からは、海も山も1時間圏内。学びだけではなくアウトドア体験の楽しみも無限大です。高岡キャンパスがあるのは、伝統工芸のまち・高岡。お隣の石川県・金沢へもJRで40分でアクセスできます。

富山県は日本のほぼ真ん中。

高岡キャンパス

五福キャンパス

杉谷キャンパス

富山湾で動物フロンティア採取

立山のフィールドワーク

漆工芸品の制作

東京から	飛行機で1時間 JRで3時間 車で約5時間
大阪から	JRで3時間30分 車で約3時間
名古屋から	JRで3時間 車で約4時間

Support.1

わからない時は!

**高校とはちよつと違う、
先生との関係。**

大学には、高校のように「クラス担任の先生」は存在しません。しかし、「助言(指導)教員※1」の配置や「オフィスアワー※2」を設けるなど、授業や研究でわからないことを質問したり、大学生活での悩みごとを教員に相談できる体制が整っています。



先生は身近な存在

「ゼミ」「研究室」って?

ゼミナール(略してゼミ)は、高校までの授業ではみられない大学独自の授業。与えられた学問ではなく、自身自身が興味を持ったことを深く研究することが出来ます。富山大学では学年が上がるとゼミや研究室に所属します。指導教員は専門分野のエキスパートであり、時には人生の頼れる先輩として、一人ひとりを親身にサポートしてくれます。

※1 履修や授業のことなどを相談できるアドバイザーとなる教員
※2 教員が、学生からの質問や相談に応じる時間帯のこと

Support.2

新生活を始めるなら!

**富山大学学生寮「新樹寮」が
新しく生まれ変わりました。**

新設および改修工事を経て、より快適に便利になった新樹寮。寮は五福キャンパスと杉谷キャンパスのほぼ中間地点に位置し、緑に恵まれた静かな環境で学生生活を過ごすことができます。

最寄りのバス停(金屋口)から徒歩3分。近くにはコンビニエンスストアもあり、通学や買い物は自転車があれば十分。ワンルームマンションタイプの間取りで、一人暮らしに必要な家具、家電が備え付けられているので、寝具や食器類を持ち込めばすぐに生活が始められます。



プライバシーを尊重したワンルームマンションタイプ



コンパクトワンルーム

富山大学新樹寮 富山県富山市寺町2639-1
<http://www3.u-toyama.ac.jp/gakusei/gakuryou1.html>

富大活用術

クラス担任の先生がいない! 初めての一人暮らし! どのカフェ? 卒業後の進路は? どう決めればいい? 一人ひとりの「困った」をしっかりサポートします。

人間発達科学部 教授
佐藤 徳
さとう・あつし

人間の認知は
どのように
つくられるか



現実？ それとも錯覚？ ここにいる「私」はホントに「私」？

「我思う、故に我在り（私は考える。だから私は存在する）」。これは、哲学者・デカルトの言葉だ。ここでいう「私」とは何か。「私が在る」とはどついつい、ことなのか。
「我々は、『私』自分である」と当たり前のように認知しているが、その感覚はしばしば錯覚を起こすものなのです」と、佐藤教授は興味深い実験（下部写真参照）を紹介してくれた。

動感覚にズレが生じると、自分の身体でないものも自分の身体と認識してしまうという実験だ。私たちは、身体と自分は同じところに在ると思っているが、それは視覚や触覚、自己受容感覚が統合されて初めて成立する。「人の認知は、必ずしも現実そのままではなく、脳の中で予想し、その中で現実を知覚しているにすぎない。私とは？ 物が在るとは？ 哲学で永きに渡って議論されてきた問題を研究で明らかにしていきたい」と佐藤教授は語る。

わからないことだらけだから、オモシロイ

佐藤教授の研究対象は主に認知科学。人間としての根本的な疑問を追究する学問分野で、心理学の一つだ。情報科学、神経科学、言語学、哲学などさまざまな学問領域に関わっている。例えば、あくびがうつるのは脳内のミラーニューロン（神経細胞の一種）の働きによる可能性もあり、ここには神経科学が関わってくる。あくびだけでなく、イライラしている人といると自分もイライラしてくるのも、ミラーニューロンの働きによるものとも考えられている。これを心理学の他者理解という観点でみると、自己と他人は別々のようだが、根本ではつながっている可能性が見えてくるという。



「見たもの」と「感じたもの」が曖昧になり、鏡の中の手が、自分の手のような錯覚が生じる実験。

佐藤教授が心理学の道に進むきっかけになったのは、大学時代に専攻していた社会史だった。ヒトの認知やものの見方は時代や文化によつて違う。そのなかで感じた「人っていったい何だろう」という疑問が研究活動の原動力となっている。
「人間は、まだまだわからないことだらけ」と語る佐藤教授が、今いちばん興味があるのは、「赤ちゃんが、どうやってヒトから人になっていくか」という。人間とは何かという根源的な問いへの手がかりを求めて、研究活動はさらに続いていく。

「何か変ー！」を糸口に 脳で起こっている不思議の謎を解く

脳卒中や脳外傷などで大脳が損傷すると手足が動かなくなるだけでなく、話す・聴く・書く・見る・行動する・記憶するなど認知機能にも障害が現れる。例えば、人の話がわからなくなったり、話したい言葉が出てこなくなったりする言葉の障害（失語症）や食事のとき自分で全部食べたと思っているのに半分残してしまう空間知覚の障害（半側空間無視）、物に触ったり音を聞いたりすると何であるかわかるのに見ているものが何であるかわからなくなる視覚認知の障害（視覚失認）などだ。症状をよく観察していないと「何もわからなくなった」「ボケてしまった



失語症検査に使う道具。カードや小物を見せながら、それを言えるかどうか、わかるかどうか等を丹念にチェックしていく。

たと間違つて扱われてしまうこともあるという。
脳を損傷した患者やその家族は、病気を患った直後から「前と違う。何か変ー」と気づき大きな違和感や不安感をもつ。実は、この「何か変ー」こそが脳のメカニズムを探る重要なキーワード。何が変だと感じるのか？ 脳で何が起こっているのか？ 高岩氏は「毎日、患者さんのさまざまな症状（行動を見たり聞いたりして、ヒトの脳で起こっている不思議の謎解きをしています」と語る。

障害があっても自分らしさを保てるように

大学時代は障害児教育を専攻。療育活動で読み書きに障害のある子どもを担当し、「なぜ読み書きだけができないのだろう？ 脳では何が起こっているのだろう？」と思ったことがこの道に進むきっかけだった。その後、コミュニケーション障害や嚥下障害のある人たちの社会復帰をサポートし、自分らしい生活ができるように支援する言語聴覚士の国家資格を取得。脳神経疾患のリハビリテーションを通して患者の言葉にひとつひとつ耳を傾け、ちよつとした行動に目を配りながら、脳の機能を解明している。研究の成果はすぐに患者や家族の生活に活かされ、障害の本質を知ることができない



附属病院リハビリテーション部
言語聴覚士
高岩 亜輝子
たかいわ・あきこ

脳の障害と
リハビリ
テーション

「こと」を「どうすればできること」に変えられるかというリハビリテーション医学へと繋げていく。「人は生きていく限りできる能力が必ずある。話す言葉はほとんど出なくても上手に歌うことができる人もいる。絵を描ける人もいる。一人の人間として尊重し、使える機能を使い、生き生きとした表現意欲を引き出すことができる」という。
高岩氏は、脳神経外科手術の術前と術後の認知機能を測定して症状を明らかにし、手術を行なうことで認知機能がどのように変化するかを医師と共に検討している。
脳の病気と認知機能の関係はまだ明らかにされていないことが多い。「残された能力を見いだし、どうすればよりよく、より豊かに生きられるのか研究を進めていきたい」と心血を注ぐ。

漢方研究サークル
緒鞭(しゃべん)会

緒鞭会は昭和49年、富山大学薬学部で学生25名により結成されました。「緒鞭会」の名は、当時の和漢薬研究所(和漢医薬学総合研究所の前身)教授であり、創立以来長きにわたり顧問を務めた難波恒雄教授により命名されました。中国の薬草の神様である炎帝神農が緒鞭(赤い鞭)で草木を打ち、百草を嘗めて薬薬を見つけたといわれていること由来しており、富山藩十代藩主前田利保公が天保7年に結成した本草物産の研究会の名が「緒鞭会」だったことにも因んでいます。

昭和50年に富山医科大学が開学し、翌年には富山大学から薬学部が移行したことから、緒鞭会の活動は両方の大学で行われていました。そして昭和54年には、活動の拠点が医薬大(現在の杉谷キャンパス)に移行し現在に至っています。

漢方や和漢薬の勉強・研究に情熱を注ぐ熱心で幅広い活動は、結成当時から創立40周年を目前にした現在まで綿々と続いており、漢方に精通し活躍する多くの研究者、医療人を輩出し続けています。



薬草の神様、炎帝神農。右手に持っているのがサークル名の由来である「緒鞭」。

緒鞭会ホームページ <http://syaben.com/index.html>

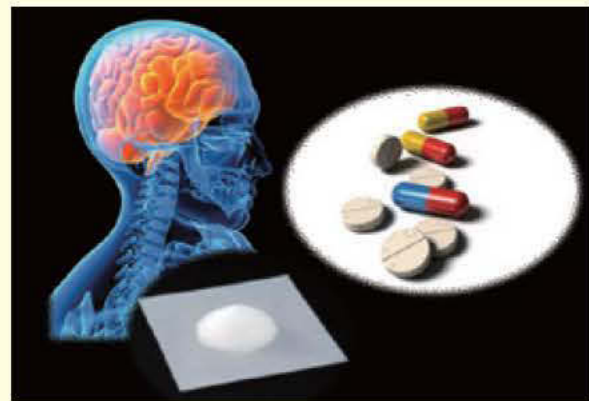
TOM'S 薬箱

くすり開発の試練と希望

—創薬研究者は“転んでもただでは起きず”—

薬の開発には10~20年にわたる過程が必要です。候補物質を見出す基礎研究、その有効性や安全性を動物実験などで調べる前臨床試験、健康人や患者での効果や安全性を調べる臨床試験、そして承認申請、審査といった長い試練を経て、ひとつの薬が完成します。

例えば、アルツハイマー病(AD)の中心的症状である記憶障害を回復させる薬の開発にも大きな試練があります。「ディメボン」は、ADの症状を示すラットの認知機能を高めたり、アミロイドベータ(タンパク質の一種で、脳内に蓄積してADを発症させる)によるミトコンドリアの機能低下を抑制する結果が見出されたことか



ら、ADの臨床試験にまでこぎつけた薬です。臨床試験の第2段階までは、AD患者の認知機能を高めるという結果が得られ、期待が寄せられていました。しかし、アメリカの製薬会社が実施した最終的な臨床試験で、認知機能改善効果は認められないという結論に至りました。アメリカでは薬物候補物質の約8%が臨床試験に進むことを許可されますが、その際、薬物のメカニズムが判明しているかどうかは問われません。ディメボンの場合も、動物実験での記憶改善効果の理由が不明の

まま臨床試験に進んだことが失敗の大きな原因であると考えられています。しかし、AD治療薬としての展開はストップしたものの、ディメボンが動物モデルで記憶を改善させた仕組みが明らかになれば、非常に興味深い生体反応を捉えることに繋がる…と前向きに考えることもできます。

一方、作用メカニズムがはっきりと分かっても予想通りに効かなかったのが「セマガセスタット」です。この薬は、アミロイドベータの蓄積に関わる酵素を阻害する働きを持ち、治療効果を期待されましたが、臨床試験の途中段階で、ADの進行を遅延させるところか認知機能を逆に悪化させ、皮膚ガンの発症といった副作用も引き起こしてしまいました。実は、セマガセスタットによって阻害される酵素は100%悪玉というわけではなく、生体の機能に大切な他のタンパク質が上手く働くよう調節するという良い作用も併せ持っています。つまり、セマガセスタットはADの原因物質を押さえる傍ら、生体にとって大事な分子の機能も抑えてしまったと考えられます。

これらの結果は、薬を開発する難しさを如実に示しています。しかし、必ずしも治療薬開発に向けた研究が後退することを意味するわけではありません。—“転んでもただでは起きず”—創薬にたずさわる研究者の多くは、こういった結果に落胆する間もなく、それらを教訓としてより注意深い研究・新しい視点での研究を積み重ね、次の一手を打つでしょう。その中で生体機能に関する新たな発見も得るはず。治療薬開発のゴールは、容易にはたどり着けない長い道のりの果てにあるものですが、その過程は、生命の未知を解明することに挑戦する、希望にあふれたプロセスでもあるのです。

和漢医薬学総合研究所(薬効解析部) 准教授 東田千尋



関 誠 せき まこと
テイカ製薬株式会社 製品開発研究部 主任
平成18年3月
大学院理工学研究科生物圏環境科学専攻修了

研究に没頭した経験が
今の自分の支えに

高校、大学時代に将来の夢について明確に述べることができない人は、それほど多くはないのではないのでしょうか。私も常に悩み続けていた一人でした。そんな私に転機が訪れたのは、大学を卒業し某食品会社に就職したものの数年で退職し、今後について考えていた頃です。そんな時、学部生4年次に所属していた研究室の野口宗憲先生の勧めもあり、富山大学大学院理工学研究科に所属することになりました。

今思えば、大学院時代は人生で最も勉学に熱中した時期かもしれません。日々研究に没頭し、国際学会での発表といった貴重な経験もできました。そのような経験を通して、自分の将来像がようやく明確に描けるよう

になった気がします。野口先生に当時ご指導いただいた事は、今でも私の研究姿勢の基礎となっております。

現在、私はテイカ製薬株式会社の製品開発研究部に所属し、医薬品の研究開発を行っています。医薬品は人の生命に関わるものであり、大変重要なものです。そのような医薬品の研究開発に携わっていることに責任とやりがいを感じています。大変なことも多々ありますが、大学院で研究に打ち込んでいた「自分」が、今の自分の支えになっています。

私は、遠回りはしましたが、大学院で研究に没頭する日々から、自分のやりたいことを明確にすることができました。学生の皆さんも多くのことを経験し、自分の打ち込めることを見つけ、その中から将来像を描いていってほしいと思います。



ハロー先輩

「いまこのとき」を
楽しんで

大学では、人文学部で心理学を勉強していました。同期の友人と夜な夜な実験レポートに取り組み日々でしたが、時には悪ふざけもしながら充実した日々を過ごしました。自身の研究では「笑い」に興味を持ち、笑うことの効果や笑いを増やす要因に着目し研究しました。楽しいけれど、思うようにいかないことも多く、笑いあり涙ありの日々。挫けそうになったときは、先生、先輩、後輩、友人など多くの人の協力、励ましに支えられ、最後は笑って乗り越えることができました。

大学で学んだことを活かそうと考え、卒業後は福祉の専門学校に通い、この春から精神保健福祉士として富山大学附属病院に勤めています。病

気や障害があるうとも、その人の望む生活が送れるように環境を整えるお手伝いをするというこの仕事にやりがいを感じています。わからないことだらけで、私に何が出来るだろうという不安や焦りもありますが、目の前の患者さんに一生懸命向き合い、日々成長していきたいです。

学生の皆さんには、「いまこのとき」を楽しんでほしいです。大学時代は多くの人や新しい自分と出会い、さまざまなことに興味を持ち、どんどんチャレンジできる時だと思います。そして、それらの経験が自分の視野を広げ、これからの人生の強い味方になってくれると私は信じています。不安定な社会情勢や就職のことなど不安は尽きないかもしれませんが、「いまこのとき」にできることを大事にしてください。皆さんが夢や希望を胸に社会人として踏み出してこられることを楽しみにしています。



前田 己沙 まえだ みさ
富山大学附属病院医療福祉サポートセンター
精神保健福祉士
平成22年3月 人文学部卒業

Tom's Gallery

トムズギャラリー

富山大学芸術文化学部
造形芸術コース
「筆講義」



- 01 2日間にわたった講義。大量の材料と製作器具を並べ、ひとつひとつ丁寧に説明していただきました。
- 02 様々な筆での試し塗りをさせてもらいました。
- 03 筆の穂の原材料であるイタチやヤギなどの毛。
- 04 体験製作した2寸絵刷毛(羊毛)。

(芸術文化学部
講師 高島圭史)

富山大学芸術文化学部
造形芸術コースでは、作品制作の授業と並行して技法材料研究の授業も行っています。毎年テーマを変え、昨年度は特別講師として日本画用筆を製作されている清原堂・阿部信治氏を招き、筆・刷毛の歴史と材料から製造までを学ぶ機会を設けました。間近で見る筆の製作実演を通して、大変な技術と知恵が筆に込められていることを知り、画家の要望に応え、性能と使い心地の良さを兼ね備えた本物の筆を作り続けるという職人の思いが伝わる熱い講義となりました。

編集後記

毎年夏に開催しているオープンキャンパスでは、関心のある学部の施設見学ができ、入試や卒業後の進路状況の話も詳しく聞くことができます。大学生活全般について、教職員に尋ねることができる機会でもあります。このほか、ウェブページや「大学案内」「学部案内」等の冊子、大学紹介ムービー (<http://www.youtube.com/user/tomidaimovie>) も大学の理解に役立つのでご覧ください。

本号では、富山大学の一日を写真で紹介するとともに、受験生に役立つと思われる質問を各学部の学生に行い、その回答を掲載しました。本学への進学を希望する皆さんの入学後の学生生活の理解に、本号が役立つことを希望します。(岩坪美兼)

トムズプレス専門部会

岩坪 美兼	大学院理工学研究部教授
黒川 光流	人文学部准教授
廣瀬 豊	大学院医学薬学研究部准教授
松田 恒平	大学院理工学研究部教授
東田 千尋	和漢医薬学総合研究所准教授

- 本誌は、富山大学構内などで無料配布しています。郵送を希望される方は、本誌綴じ込みはがきにてお申し込みください。
- 本誌は、年4回、3ヶ月毎に発行します。ご意見、ご要望を是非お聞かせください。



発行日 平成23年7月15日
発行 国立大学法人 富山大学
問合せ先 富山大学総務部広報グループ
〒930-8555 富山市五福3190 TEL076-445-6027 FAX076-445-6063
E-mail kouhou@u-toyama.ac.jp

Tom's Press はインターネットでもご覧いただけます。 <http://www.u-toyama.ac.jp/>